

令和4年度「山形学」第4回講座 実施報告書(HP版)

- ◆日時：10月2日(日) 8:50~16:00
- ◆会場：道の駅いでめぎみの里
見学先：ながめやまバイオガス発電所
- ◆テーマ：大テーマ「食」をめぐる山形の地域課題
第4回テーマ「食」をめぐる山形の地域課題Ⅱ
- ◆内容：講師：後藤博信氏(東北おひさま発電株式会社 代表取締役)
齋藤聖人氏(スーツ農家/JA山形おきたま青年部)
コーディネーター：本田香奈子氏(「山形学」企画委員)
菊地和博氏(「山形学」企画委員)
出席委員 松尾剛次氏・中川恵氏

◆プログラム

- 8:50 バス遊学館出発
- 10:00 めぎみの里 到着
- 10:30 後藤博信氏より講話
- 11:15 講話終了
- 11:25 ながめやまバイオガス発電所 見学
- 12:10 昼食
- 13:00 齋藤聖人氏講話
- 14:30 めぎみの里出発
- 15:50 遊学館到着・解散

◆参加者数：27名

◆主催：公益財団法人山形県生涯学習文化財団 後援：山形県教育委員会

◆当日の様子

第4回講座では、山形の食の地域課題と解決策を、ながめやまバイオガス発電所とスーツ農家としてコメ作りに励む若手農家の2つの取り組みから学びました。

はじめに、東北おひさま発電(株)社長の後藤博信氏から、ながめやまバイオガス発電所の立ち上げのきっかけや発電所のシステムについてお話を伺いました。米沢牛の4割を生産する飯豊町は畜産が盛んですが、地域住民との臭気問題がありました。畜産農家の作業負担の軽減化と肉牛の飼育方法も合わせて改善したいと、ふるさとのために奮闘する後藤氏の熱意に圧倒されました。解決策として、畜舎と発電所を結ぶパイプラインを布設することで臭気を封じ込め、更に糞尿をバイオガスに変え、消化液を液肥に変え、絞り粕を肥料として再利用するという、全く無駄の無い、地球環境にも畜産農家にも牛にも地域住民にもやさしい持続可能な取り組みについて説明していただきました。その後、実際に発電所を見学した受講生たちは皆一様に、全国に先駆けた素晴らしい取り組みを目を輝かせて聞き入り、この取り組みが全国に広がってほしいと願っていました。

スーツ農家として有名な川西町の若手コメ農家・齋藤聖人氏は、スーツを着て農作業を行うスタイルに至ったきっかけや、食生活やライフスタイル等で日本人がコメを食べなくなった現状を分析、コメ農家の生き残り策や取り組みを紹介、また若者に農業に興味をもってもらうために時代に合わせた様々な実践方法などを説明していただきました。農家の高齢化問題ばかりがクローズアップされますが、実際は農業生産物の売上8割は、2割の農家で占められており、農業の集約化が進んでいるというお話でした。会場での齋藤氏は、もちろんスーツ姿で、おしゃれなヘアスタイル、ファッションで、これまでの農家のイメージを一蹴するものでした。農業でおしゃれもできる、自分の才覚で発展できる可能性ややりがいがある、日本の食料自給にも貢献できる等々、若者にも「農業っていいかも」と思わせるインパクトがありました。また、農村の文化や景観を守ることの大切

さやエシカル消費の重要性についてお話をいただきました。農協を介さない3割のオンライン販売や SNS を駆使した PR など若者ならではの方法で、水稲21haもの大規模経営をしている齋藤氏から語られる農業への熱い思いと一生懸命さは、非常に頼もしく、受講生から熱いエールが送られました。

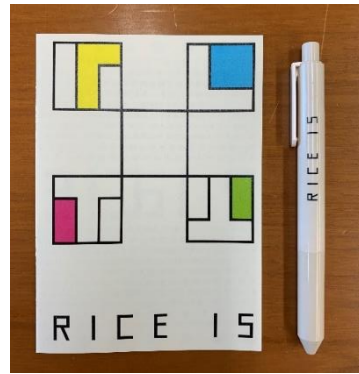
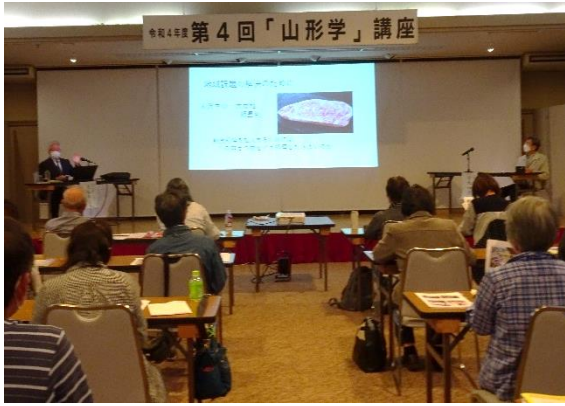
今山形が抱える畜産農家の悪臭問題、農家の負担軽減、持続可能な地域内循環、エネルギー問題、農家の高齢化等の課題解決のための取り組みについて考える大変有意義な講座となりました。

参加者の声

- ・後藤さんのエネルギーに対する熱意にとっても感激しました！！リサイクル。ロスを無くす時代にぴったりです。山形からもっともっと発信することが大切と感じました。心より応援したいです！！
- ・身近なテーマをより深く掘り下げて勉強ができました。
- ・初体験のバイオガス発電所見学、スーツ農家齋藤聖人さんの夢溢れる農業の取り組みのお話、興味深く拝聴致しました。
- ・バイオガス発電、素晴らしい取り組みでした。スーツ農家の齋藤さん、テレビで活躍を知りました。今後の更なる活躍を期待しています。
- ・後藤氏、齋藤氏、とても素敵なお話でした。実見学も素晴らしかったです。
- ・後藤先生の話はととてもわかりやすかったです。ただ時間が足りず、もっとじっくりとお伺いできればもっとよかったです。
- ・齋藤さんの話は興味深かったです。今、前向きに米作りに取り組んでいる若者の考えをお聞きできて良かったです。
- ・興味があった施設を研修できました。
- ・ながめやまバイオガス発電所社長の熱意あふれる説明と現地見学、有意義かつ楽しく見学させて頂きました。大規模・意欲的に取り組んでいる姿、是非今後成功していただき、他にも広がるよう祈りたいと思います。齋藤さんの柔和なお話ぶり、内容に、応援したい気持ちになりました。
- ・お二方に共通するのは、周囲に応援してくれる他企業、大学などがしっかりいらっしゃること、ですね。やはり人とのつながりはとても大事なのだと思いました。つまり、必要なのはアクセスする力、人間性でしょうか。
- ・2名の話の内容が現実的で良かったです。出席しないとわからないことでした。座学よりこうした現地講座を多くして欲しいです。
- ・一生懸命な人の姿を見聞きすることの幸せを感じ取れました（信念を間近に受け止められました）。
- ・家畜排泄物で発電をしている企業が県内にあることに驚きました。素晴らしい取り組みが全国に広がるといいですね。
- ・お肉もお米も買って食べて、応援したいと思いました。
- ・牛のふんを使った環境に優しい発電や、スーツを着て農家をする方の取り組みについて知れて良かったです。
- ・ながめやまバイオガス発電所は考えた人と技術が結びついて、熱意でできたと思います。これから先、10年先も続いていけば地球環境にも良いことと思います。

○当日の様子





廃棄するお米を紙とボールペンに再利用

